

「『ダメ。ゼツタイ。』普及運動」における  
街頭キャンペーン・厚生労働大臣メッセージ

今日、大麻をはじめとして覚醒剤、麻薬などの薬物の乱用が深刻な社会問題となっています。

これらの薬物を乱用すると、自分の意思では止めることが極めて難しくなります。自らの体や心をむしばむだけだけでなく、家族や周りの人々にも大きな影響を与えるため、絶対に使用してはいけません。

令和4年の大麻の検挙者数は、過去最多を更新した令和3年に続く高い水準です。とりわけ、若年層の大麻乱用が顕著で、大麻の検挙者数の約七割を三十歳未満が占めています。

SNS等では、一部の外国で「大麻が合法化しているから安全」といった誤った情報や、大麻の密売を持ちかけるような投稿も多くあります。

しかし、大麻は決して安全ではなく脳に影響を及ぼすものであり、若年期からの大麻使用が乱用と依存の危険性を高めることが懸念されています。

薬物乱用から自分自身を守るためには、どんな人から誘われても、立ち止まって冷静に考えること、きっぱりと断る勇気を持つことが何よりも大切です。皆様一人ひとりが、薬物乱用は「ダメ。ゼツタイ。」を合言葉に、薬物乱用防止の輪を大きく広げていただき、ともに薬物乱用の無い社会を作っていきましょう。

令和五年六月二十四日

厚生労働大臣 加藤 勝信